

形状維持機能を付与した オーダーカーテン芯地の開発



- 1／加工時の温度変化のばらつきがない熱媒体循環式の細幅織物用熱セット機。
- 2／見た目にもしなやかさとコシが感じられる芯地。
- 3／経糸にポリエステル芯鞘構造糸を使用して織られる芯地。

意匠性に優れ、開閉しやすい高級カーテンを実現できる芯地。

米澤物産ではインテリア資材の一つとしてカーテン芯地を生産している。近年は安価な輸入品の市場が拡大し、国内のファブリックメーカーでは店頭などで見ただけで違いが分かる高級オーダーカーテンの製品開発を目指しているが、従来は芯地での差別化はされていなかった。

そこで透明性を保ちながら、しなやかで折りたたみ性が高く、カーテン上部のタック（ひだ）が綺麗にたためる芯地の開発に着手。経糸に使用するポリエステル芯鞘構造糸を熱セットすることでしなやかな効果を得るため、本事業で熱媒体循環式の細幅織

物用熱セット機を導入した。しなやかさとコシを両立した新開発の芯地は、ひだの開き幅が小さく、カーテン下部の前倒れも抑えられ、見た目にすっきりしている高い意匠性を実現。閉じた時の収まりや、開け閉めのしやすさなどでも高い評価を得ることができた。

さらに、加工本数が従来の5幅から8幅に増え、稼働時間の見直しなどでエネルギーコストも改善され、人件費なども含めて30%のコストダウンにも繋がった。最終的に品質を重視したものと、価格面での要求にも対応できるもの計4種類をメーカーに提案し、厚地、レース用芯地の生産、販売を開始している。

注目すべき
成果

安定した品質で新製品を開発。

加工条件が安定してコントロールできるようになり、温度変化が大きいガスや電気を熱源とする既存の熱セット機では実現できなかった、高品質で強度も備える付加価値の高い新製品の開発に取り組むことができた。

注目すべき
成果

差別化できる商品の実現を、顧客企業に提案。

量販店などに押され苦戦する国内のインテリアファブリック企業に、品質面での差別化を提案できる商品が開発できた。実際に仕上がったカーテンを見て、触れば、明らかに違いがわかる意匠性と開閉性が強い。

今後の展望

高品質な国内産カーテン市場の拡大を。

今後の付加価値の高い国産カーテンの需要を、増設が続くホテルや、公共施設などの分野に想定し、ファブリック企業に芯地を提案。宿泊客らを通じた海外顧客への品質の周知・市場拡大を期待。

ものづくり専門員から一言

差別化を
お客様目線で作り出す。

扱い品は、家庭用品からロボット部品まで多岐にわたる。販売員が「他の商品とはここが違いますよ」と言える商品を作り出す源は、お客様が望まれる以上のものを常に目指しているから。ここに福井の地に残るべき「ものづくり企業」の原点が見えた。

こんな会社です！



代表取締役
米澤 稔喜さん

時代とともに、 繊維資材で生活を楽しむ。

当社は細幅織編物メーカーとして創業67年目。生産から染色、セット加工、仕上げまでの一貫体制によるクイックな対応が強みです。時代とともに変化するニーズにも対応し、近年はウェアラブル関係や医療関係、アシストスーツ関係などの分野にも当社製品が活用されています。これからも“Dr.fabricparts”として「繊維資材のことなら何でもやる、できないことはない」と常に挑戦を続け、“部材で人々の生活を楽しむ”をミッション、“誇りある物、人、企業づくり”をマインドとして100年企業を目指しています。

株式会社 米澤物産

代表者／代表取締役 米澤 稔喜
設立／昭和27年（1952年）10月
資本金／6,000万円
従業員数／65名
事業内容／細幅織編物の製造卸売業
〒910-0158 福井市八重巻中町1-13
☎0776-56-0135 FAX.0776-56-0279
[E-mail] info@yonezawa-bussan.jp
[URL] http://www.yonezawa-bussan.jp



インテリアやアパレル、産業資材など多様な分野で活用されている織物製品。



本社・工場